

# 短波海洋レーダシステムによる広域・高密度な波浪・海上風観測の事業化に関する研究

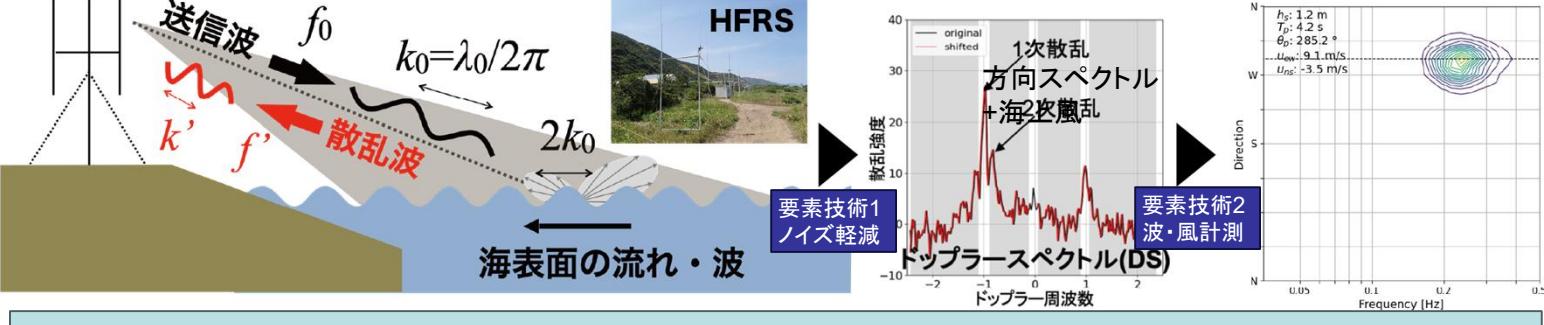
研究代表者: 愛媛大学 片岡智哉 研究期間: 令和7~8年度

## 研究課題の背景と目的

我が国の輸出入量(重要ベース)の99%は、海上輸送 → 港湾は国民生活と産業の根幹を支える重要インフラ

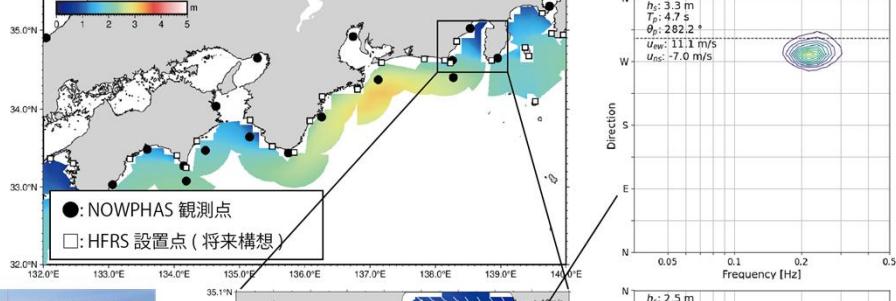
南海トラフ巨大地震津波や気候変動に伴う台風の巨大化の懸念が拡大 → 国力強化において沿岸域における防災・減災対策も必須

沖合での海洋波の高度化に資するため、陸上設置の短波海洋レーダシステム(High-Frequency Radar System: HFRS)を用いた面的な流況・波浪・海上風を提供するクラウド型海象情報提供サービスを実用化する



## 研究課題のプロジェクト概要

### HFRS 観測網の将来構想



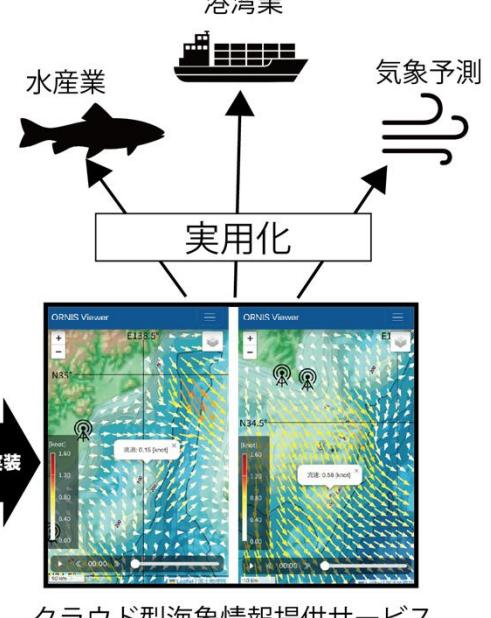
可視化



駿河湾 HFRS による  
波浪・海上風観測



波浪の詳細情報  
(波浪スペクトル) の面的把握



クラウド型海象情報提供サービス  
画面イメージ (スマホ版)

## ORNIS株式会社のビジネスモデル～海洋レーダで日本の海を安全で豊かに～

面的な流れで急潮から  
養殖業を守る



陸にいながら正確な  
出船判断を実現

